

工業統計と生産動態統計の比較結果

2019年1月
調査統計グループ

1. 比較方法について

- 去る2018年10月22日の「国民経済計算体系的整備部会」に内閣府が提出した資料4-2の暫定分析で、第一次年次推計から第二次年次推計への改定差が大きいとされた品目について、1次統計作成者の立場から、両統計間の金額水準が異なる以下の4つの要因について2016暦年で考察を行った。
- 生産動態統計及び工業統計の公表値による比較のほか、家計消費の3品目に関して、影響が大きい事業所の両統計の個票を確認するなど、事業所単位での比較も行った。
- なお、内閣府より、SNAの推計においては、生産動態統計の「生産額」を活用しているとの説明があったため、工業統計との乖離要因の一つと考えていた「③受け入れ」の影響はなくなる。

乖離額の主な要因と思われる内訳（10月22日の「国民経済計算体系的整備部会」にて経産省から提示）

- ① 品目分類の対応
工業統計と生産動態統計の品目概念が異なっている部分を第1次年次推計でも使用しているもので、対応関係の組換えが可能なもの。
- ② 部分品・付属品等の生動指定外品目
部分品・付属品及び「その他の製品」等で生動調査の対象にならない品目や、生動の統一基準に達していない品目、所管外の品目。
- ③ 受け入れ
本来、工業統計の出荷額には含まれない受け入れ(転売品)の扱い等により生じている両統計の差異。
- ④ 事業所の対象範囲
生産動態統計で、従業者数の裾切りのため把握していないと思われる小規模事業所分等。

2. 比較結果の概要

- 一部品目では、集計対象品目の組み換えにより、工業統計と生産動態統計の金額の格差は縮小。（「①品目分類の対応」が主因）
- 金額の格差に最も大きく影響していたのは「②部分品・付属品等の生動指定外品目」であった。部品等については、月次の動態統計において時系列の安定性に欠く（同一技術で製造する部品等でも、納入先によって、分類が異なること等。）ため、調査目的からも安定的な完成品の動向で把握することとしている。なお、サービス用機器については、部品以外の生動指定外品目となる当省所管外のパチンコ、スロットマシンの差異が主因となっている。
- また、「④対象範囲」についても工業統計における把握範囲が影響していることもわかった。

2016年(平成28年)の工業統計と生産動態統計の乖離状況

	内閣府提示品目名		年次	工業統計出荷額		生動生産額(内閣府コン パター・ベース)		乖離額(工業-生動)A		乖離額の主な要因と思われる額 B				残差 A-B
				百万円	前年比%	百万円	前年比%	百万円	前年比%	①	②	③	④	
										分類組換	部品等生動指 定外	受入の影響	対象範囲	
家計消費	1	民生用エアコンディショナ	2016	605,323	4.0	1,053,707	8.4	-448,384	15.1	-489,478	0	-	0	41,094
	2	携帯電話機	2016	315,197	▲ 30.1	151,633	▲ 22.9	163,564	▲ 35.7	0	0	※(121,677)	72	41,815
	3	パーソナルコンピュータ	2016	506,255	▲ 25.7	551,785	2.2	-45,530	▲ 132.3	0	33,872	-	3,319	-82,721
総固定 資本形 成	1	電気照明器具	2016	963,103	1.8	948,451	8.3	14,652	▲ 79.0		71,958	-	64,698	-122,004
	2	建設・鉱山機械	2016	2,765,985	▲ 5.9	1,347,597	▲ 7.1	1,418,388	▲ 4.6	78,959	839,570	-	49,339	450,520
	3	半導体製造装置	2016	2,528,737	1.2	1,578,790	21.5	949,947	▲ 20.8		610,233	-	104,628	235,086
	4	原動機	2016	1,172,372	3.1	546,588	▲ 4.5	625,784	10.8		502,098	-	780	122,906
	5	開閉制御装置・配電盤	2016	2,315,186	▲ 3.2	1,305,346	▲ 0.2	1,009,840	▲ 6.8		221,799	-	336,223	451,818
	6	化学機械	2016	731,181	1.1	173,300	▲ 8.5	557,881	4.6		296,092	-	105,393	156,396
	7	サービス用機器	2016	1,419,486	▲ 23.6	121,487	▲ 13.7	1,297,999	▲ 24.4		1,231,876	-	25,944	40,179

※ ③に記入がある携帯電話機については、後述の説明のとおり。

3. 品目ごとの比較検証結果への考察（家計消費）

（1）民生用エアコン

- ◆ 工業統計は民生用エアコンが対象だが、生動は駆動方式別、出力別に品目が分かれているため、出力の大きな7.1 K wを超えるものを民生用ではないとみなすと、工業統計と近似値となる。したがって、内閣府が行う集計対象品目の組み換えにより、工業統計の定義に合わせて生産動態統計の品目分類を組み換えれば、格差は縮小する。
- ◆ 民生用エアコンは、工業統計でも従業者数50人以上の事業所のみである。

（2）携帯電話

- ◆ 携帯電話の品目概念は、工業統計と生産動態統計で大差はない。
- ◆ 工業統計の出荷額に一部の事業所で受け入れが含まれている可能性が考えられるが、報告者から正しい報告値を回答いただくことで、今後の推計では調整の必要はない。

（3）パーソナルコンピュータ

- ◆ パーソナルコンピュータは、部分品・取付具・附属品が大きく影響していることから、完成品の動向で見ると金額の水準は近くなる。
- ◆ 工業統計の製造品出荷額に占める部品等の割合は6.7%であり、影響は少ない。
- ◆ 完成品の製造事業所で従業者50人未満の事業所の出荷金額をみると、その影響は30億程度に留まっている。

4. 品目ごとの比較検証結果への考察（総固定資本形成）

（1）電気照明器具

- ◆ 生産動態統計では、2014年から「LED器具」を新規品目として調査を開始したため、過去においては時系列の接続に問題があったが、現時点では影響はなくなっている。
- ◆ なお、工業統計の製造品出荷額に占める部品等の割合は7.5%であり、影響は少ない。

（2）建設・鉱山機械

- ◆ 生産動態統計において「産業用車両」に該当するショベルトラックを内閣府が行う集計対象品目の組み換えにより、集計値に加えることで格差は縮小する。
- ◆ 部分品・取付具・附属品が大きく影響していることから、完成品の動向で見ると水準は近くなる。

（3）半導体製造装置～（6）化学機械

- ◆ バスケット品目(その他の品目として統合された品目) や部分品・取付具・附属品が大きく影響していることから、完成品の動向で見ると水準は近くなる。
- ◆ また、工業統計における把握範囲の違いについても影響している。

(7) サービス用機械

- ◆ 当該品目はサービス・娯楽用機械全般が該当するため、特定品目を調査する生産動態統計では全ての範囲を把握することは困難である。
- ◆ 当該品目の格差のほとんどは「パチンコ、スロットマシン」であった。「パチンコ、スロットマシン」は、出玉試験など、国家公安委員会規則に基づいた試験を行って製造されるものであり、警察庁所管品目であることから、生産動態統計の指定外品目となっている。

固定資本形成の部品等生動指定外品目の状況(2016年)

内閣府提示品目名	工業統計出荷額 (百万円)	部品等生動指定外品目			部品等の 割合(%)
		品目番号	品目名	出荷額(百万円)	
電気照明器具	963,103	—	部品等生動指定外品目合計	71,958	7.5%
		294221	電気照明器具の部分品・取付具・附属品	71,958	7.5%
建設・鉱山機械	2,765,985	—	部品等生動指定外品目合計	839,570	30.4%
		262133	摩砕機、選別機	9,289	0.3%
		262134	破碎機・摩砕機・選別機の補助機	14,786	0.5%
		262141	建設機械・鉱山機械の部分品・取付具・付属品	772,844	27.9%
		262142	建設用トラクタの部分品・取付具・付属品	42,651	1.5%
		—	部品等生動指定外品目合計	610,233	24.1%
半導体製造装置	2,528,737	267121	半導体製造装置の部分品・取付具・附属品	534,224	21.1%
		267212	フラットパネルディスプレイ製造装置の部分品・取付具・附属品	76,009	3.0%
		—	部品等生動指定外品目合計	502,098	42.8%
原動機	1,172,372	251313	はん用内燃機関の部分品・取付具・附属品	105,273	9.0%
		251911	原子動力炉、同部分品・取付具・附属品	394,591	33.7%
		251919	他に分類されない原動機	2,234	0.2%
		—	部品等生動指定外品目合計	221,799	9.6%
開閉制御装置・配電盤	2,315,186	291315	電力開閉装置の部分品・取付具・附属品	64,242	2.8%
		291421	配電盤・電力制御装置の部分品・取付具・附属品	157,557	6.8%
		—	部品等生動指定外品目合計	296,092	40.5%
化学機械	731,181	265222	環境装置(化学的処理を行うもの)	73,757	10.1%
		265229	その他の化学機械、同装置	123,924	16.9%
		265231	化学機械、同装置の部分品・取付具・附属品	98,411	13.5%
		—	部品等生動指定外品目合計	1,231,876	86.8%
サービス用機械	1,419,486	272119	その他のサービス用機械器具	70,665	5.0%
		272121	サービス用機械器具の部分品・取付具・附属品	10,857	0.8%
		272211	パチンコ、スロットマシン	831,652	58.6%
		272212	ゲームセンター用娯楽機器	14,760	1.0%
		272213	遊園地用娯楽機器	5,642	0.4%
		272219	その他の娯楽用機械	1,136	0.1%
		272221	娯楽用機械の部分品・取付具・附属品	207,486	14.6%
		272312	自動販売機の部分品・取付具・附属品	27,519	1.9%
		272919	他に分類されないサービス用・娯楽用機械器具	47,602	3.4%
		272929	その他のサービス用・娯楽用機械器具の部分品・取付具・附属品	14,557	1.0%